

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE
ROAD

2023年
夏号
vol.37

INDEX

- ◆ 令和5年度事業計画の概要
- ◆ 名古屋市障害者スポーツセンター
事業報告
- ◆ 職員の人材育成の取り組みについて
- ◆ りはみんサロン報告(2023年3月)
- ◆ 募集・事業所案内

事業団公式マスコットキャラクター
りはみん



発行：季刊オレンジロード編集委員会



令和5年度 事業計画の概要

令和7年度以降の次期指定管理期間を見据え、今後の事業団運営のあり方を整理、検討していく時期となりました。現指定管理者の「中間評価」で指摘された「収支状況の改善」に向けた具体的な努力をしつつ、障害者リハビリテーションの中核施設の担い手として、障害者当事者・関係機関・地域などに対し、今後どのような役割を果たしていくことができるかを、名古屋市と連携・協力しながら、検討を進めていく必要があります。

また、事業団が今後とも質の高いサービスを提供し、

地域のリハビリテーションや障害者福祉をリードし続けていくために、これまで以上に人材の確保・育成に向けた取り組みに力を入れていくとともに、研究活動の促進などにより先駆的・先進的な取り組みへの挑戦を続けていくことが重要であり、この地域の障害者福祉の発展のため、事業団の未来のため、職務にまい進していきます。

第5次経営戦略計画の計画期間の初年度にあたる令和5年度は、次の事項を重点的に取り組みます。

01 経営戦略計画の推進(初年度)

第4次経営戦略計画(令和2年度から令和4年度まで)の期間は、全体を通して新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。第5次経営戦略計画(令和5年度から令和7年度まで)の期間においては、アフターコロナ

における社会活動を視野に入れた事業運営が求められるとともに、リハビリテーションセンターの指定管理期間の更新が控えています。大きな節目を迎え、これまで以上に目標の達成に努めます。

02 収支状況の改善

リハビリテーションセンター中間評価で指摘された「収支状況の改善」について、引き続き全職員に対し経営意識の醸成を図るとともに、経営戦略会議などにより運

営状況や稼働状況を把握し、経費の削減および収入の増加の方策を検討、実施します。

03 国土交通省 社会復帰促進事業への取り組み

令和4年9月から、主に自動車事故での頭部外傷などによる高次脳機能障害者に対する、地域生活移行・定着までの切れ目のない支援体制を構築するため、国土交通省がモデル事業として「社会復帰促進事業(自動車事故被害者支援体制等整備事業)」を開始しました。事業団も、なごや高次脳機能障害支援センターを中心とする連携体制を組んでこの事業に応募し、病院と地域の事業所

間の連携を強化するための「ネットワーク構築支援」、専門的知識を有する職員による自立訓練の提供などを行う「自立訓練提供支援」、地域の事業所などに訪問し、会議への参加や研修の実施などを通して、円滑な地域生活への移行と定着を図る「地域連携支援」の3つの柱に、組織全体で取り組んでいきます。

04 人材確保と人材育成の強化など

人材確保については、多部門で連携して戦略的・計画的な採用に努めるとともに、通常の就職説明会に加え、インターンシップの複数回の実施、職場見学の積極的な受け入れ、就職フェアへの参加、広報媒体の多様化など、採用広報も引き続き強化します。

人材育成については、令和4年度に試行的に始まった新たな階層の研修を本格的に実施し、また既存の階層の研修内容を見直すなど、職員全体の研修内容の充実に努めます。またOJTを通じた職員の育成にも努めます。

05 広報および研究活動の推進

事業団においては、公式ウェブサイトやTwitter、Instagram、YouTube、広報誌などを活用し、広報活動に力を入れています。令和5年度においても引き続き外部への情報発信に積極的に努め、運営施設を利用する際の情報提供に努めるとともに、各サービスの特色や各種取り組みを分かりやすく周知していきます。また、運営

施設の説明会、見学会についても、内容や実施回数を工夫しながら積極的に実施します。

研究活動については、リハビリテーション研究基金による研究、業務関連研究の活用や他機関との共同研究を推進し、研究環境の整備に努め、成果を情報発信します。

06 修繕積立金を活用した工事の実施

リハビリテーションセンターの建物や設備の老朽化が進んでいます。安全・安心・快適な施設利用のため、事業団の繰越金(令和元年度から令和4年度分まで)から積

み立てた「修繕積立金」を活用して、計画的に工事を実施していきます。令和5年度は公衆Wi-Fi設置工事を行う予定です。

07 新型コロナウイルス感染症への対応

令和4年度においては、入院患者などの感染状況に応じ、新規入院患者の受け入れ中止やリハビリの一時休止などの対応を行った一方、障害者スポーツセンター、福祉スポーツセンターなどにおいては、一部のサービスについて利用制限を緩和してきました。

令和5年度においても引き続き、事業団全体で感染状況や対策を共有しながら、迅速かつ適切な対応に努めます。また国の方針に基づき、令和5年度も引き続き、附属病院において医療従事者、地域住民、事業団職員などに対する新型コロナワクチン接種への対応を行います。

08 その他

令和6年4月から新たな受託期間が予定されている、障害者基幹相談支援センター・地域活動支援センターについて、事業受託に向けた準備を行うとともに、これまで事業団が培ってきた障害者支援のノウハウなどを活かし、地域の複雑・複合化した支援ニーズに対する包括

的な相談支援体制の強化に向け、関係機関と連携しながら取り組んでいきます。

また、障害者就労支援センターめいりはについても、事業受託に向けた準備を行います。





新たな指定管理期間における 実施事業について

1 基本方針など

(1)名古屋市障害者スポーツセンターの基本理念

多様化する利用者ニーズや利用者層を的確に理解・認識し、適正な施設管理と運営をめざします。

基 本 理 念

名古屋市障害者スポーツセンター（以下、「センター」という。）は、スポーツ、レクリエーションなどを通じて障害者の健康の増進を図り、社会参加やノーマライゼーション理念の実現、福祉の向上をめざします。

基 本 方 針

- 1 幅広く質の高いスポーツサービスを提供します。
- 2 自らの専門的役割を自覚し、必要な知識・技術の自己研さんを行います。
- 3 安全で安心してご利用いただけるよう心がけ、常に進歩・発展に励みます。

(2)障害者スポーツの拠点施設

障害者スポーツの拠点施設として3つの側面から障害者スポーツの普及・振興に取り組みます。

- ①障害のある方へ無理のないスポーツ活動の導入と継続への支援強化
- ②障害者スポーツを通じた積極的な社会参加につながる環境整備
- ③障害者スポーツを支える人材の育成・確保と障害者スポーツに関する相談機能の充実

2 利用促進および利用者の満足度を高めるためのサービス向上計画

(1)利用促進について

利用促進のために、適切な情報が的確に伝わる工夫をします。

そのひとつとして、従来からの紙媒体だけではなく、複数のSNS（LINE、Twitter、Instagram）を活用し、スピーディーかつタイムリーな情報提供を行います。

(2)スポーツ指導などについて

利用する皆さんの利用目的や目標、障害特性に配慮し、「何ができる」ではなく「どうすればできる」を追求し、指導方法を工夫しながら利用する皆さんとともに安全なスポーツ活動をご提案します。

- 障害特性に応じた一人ひとりの安全なスポーツ活動の提案
- 日常活動施設によるスポーツ活動の助言・指導
- スポーツ教室の開催（当センター内と地域スポーツ施設で実施）
- 種目別練習日（事前申し込み不要で自由参加制）の開催
- スポーツ医事相談、スポーツ用具相談、こころの健康相談の開催

(3)障害者スポーツセンターのスポーツ教室・種目別練習日における新たな取り組み

これまでは対象年齢を主に中学生以上としていたが、ジュニア世代の利用促進と育成強化を見据えて小学生や未就学児を対象とする事業を実施します。

(4)新たな障害者スポーツ振興の取り組み計画

開催延期や無観客、同都市で2度目の開催など、史上初づくしの東京2020パラリンピック競技大会のレガシーを引き継ぎ、2026年アジアパラ競技大会に向けて、さらに名古屋市域の障害者スポーツの推進を図ることを目的に次のような振興計画を実行します。

当事業団は、名古屋市障害者スポーツセンターの新たな指定管理期間（令和5年4月1日から令和10年3月31日まで）の指定管理者として選定され、引き続き当センターを運営することとなりました。平成13年度から21年間、当センターの事業に関わってきた経験と実績、専門性を融合し、障害者スポーツの拠点として障害のある方が健康で豊かな生活を送ることができるよう以下の事業を実施します。

取り組みのテーマ

～ レガシーのその先へ ～

取り組みを進める4つの側面

実施環境整備

1 地域スポーツセンターとのさらなる連携強化と施設利用促進の拡大

地域スポーツセンターの指定管理者と日常的な連携を強化し、障害者が身近なところで気軽に運動することができる環境を整備します。

理解促進・普及啓発

2 障害者スポーツを活用した「みんなのスポーツ」の推進と運動実施率の向上

ユニバーサルスポーツにもなり得る障害者スポーツを活用した多様な運動機会を創出し、あらゆる人が運動しやすい環境を整備することにより、運動実施率の向上を図ります。

人材育成・確保

3 パラスポーツ指導員を中心とするサポーターの活動継続と活性化

障害者スポーツに対して多種多様な関わり方や勉強機会を用意することにより、ひとりでも多くの市民がサポーターとしての活動を始めるきっかけを提供し、興味を持ち、継続して活動したくなる環境を整備します。

競技力向上

4 ジュニアアスリートの育成強化

ジュニア世代の皆さんが気軽に参加することのできる体験会や教室を実施し、発掘と育成を図ります。

その他の新たな提案

- なごや市民スポーツ祭で障害の有無にかかわらず参加することのできる「ボッチャの部」を開催
- 地域との連携、地域への貢献、地域との共存をめざした事業を展開
- ボランティアの資質向上を目的にイベント等開催に向けた事前研修会や勉強会を実施
- パラスポーツ指導者資格取得認定校との連携を強化し、在学中から障害者スポーツへ関わる機会を提供
- 2026年アジアパラ競技大会の成功を目的に、パラスポーツ指導員の養成と育成の充実
- 市内小中学校障害者スポーツ体験出前授業など、共生社会の実現に向けた活動の充実
- ひとりでも多くの市民に効率かつ効果的に伝えられる障害者スポーツに関する情報発信の工夫・強化



指定管理者研修



名古屋市障害者スポーツ大会



パラスポフェス
ブラインドサッカー



市内小中学校障害者
スポーツ体験出前授業

職員の人材育成の取り組みについて

当事業団では、人材育成基本方針(5年間)に基づき毎年度人材育成計画を立て、職員の育成を行っています。
2023年度においては、以下を重点項目として、人材育成の取り組みを行います。

(1) 能力向上および連携強化のための取り組みの実施

各階層別に求められる能力の効果的かつ効率的な習得および組織力の向上を狙いとして内部の集合研修や外部への派遣研修を組み合わせ実施します。

新人、若手、中堅I・II、課長・リーダーの職員を対象とした共通研修を実施し、各階層で学んだテーマを実践する場として、下の階層の研修企画に取り組みます。また、昨年度に試行・検討した内容を踏まえ、中堅職員II以降および課長職以上の職員を対象とした研修を実施します。



若手職員による新人研修

(2) 職場環境・風土の整備

人材育成部会を運営し、職員同士が支え合う誰でも働きやすい職場環境づくり、職員のやる気と意欲・可能性を引き出し、組織の活力を向上させる職場づくりの取り組みを検討・実施します。



中堅職員IIによる若手職員研修

(3) 育成を支援する取り組みの実施

職員一人ひとりが、主体的に自らに求められる役割や能力を理解し、すべての職員に求められる能力とそれぞれの職種で必要な専門的能力の向上を図ることができるよう、引き続き組織的な支援(育成面談制度と資格の取得等を奨励する自己啓発支援制度)を実施します。



職員採用について



視覚障害者向けレクリエーション体験

事業団では、職員採用の取り組みとして、毎年インターンシップを行っています。インターンシップでは、実際の職場の職業体験を行い、実務を見たり、職員の話の聞いたりすることで、説明会では得られない内容を知ることができます。

2023年度もインターンシップを企画中です。職員採用については事業団ウェブサイトの採用情報ページをチェックしてください。



りはみんなサロン

「リハビリセンター見学と革細工体験」を開催しました

2023年3月7日(火)に「リハビリセンター見学と革細工体験」をテーマに、社会貢献活動の一環として実施している「りはみんなサロン」を開催しました。今回は総務部と障害者支援施設の生活支援部門が協力して担当しました。

当日は12名の参加があり、和気あいあいとした雰囲気の中、会を進めることができました。

センター見学は、コロナ禍ということもあり、センター内を実

際に見学していただくことは叶わず、DVDでのご紹介となりました。「近くに住んでいるけれど、何をしているところなのか、知らなかった」「就労移行について詳しく話を聞きたい」という声もあり、定期的にセンターを紹介する場があると良いと感じました。

その後はお待ちかねの革細工体験！ 参加者の皆さん

は、型を選び、デザインを考え、色を選び…と、とても真剣に、そしてとても楽しそうに取り組んでいました。勢いあまって、型を逆さまに刻印してしまったり、ああでもない、こうでもない、とデザインに迷ってなかなか次の工程に進めなかったり、とハプニングもいろいろありましたが、どの方もできあがった作品に満足されている様子でした。

ある参加者の方が、出来上がった小銭入れをとても嬉しそうに手にしながら「暖くなったら、これを持ってお出かけしなくてはいけないわね」とおっしゃっていたのがとても印象に残っています。今後も地域の皆さまとの交流の場として、りはみんなサロンを開催していきたいと考えています。



私たちと一緒に
働きませんか

事業団職員 大募集



随時
募集中
です！



職場見学
大歓迎



現在募集中

正規職員

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

嘱託職員

嘱託（パート）職員も募集中です。
下記二次元コードで募集案内をご覧ください。

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

正規職員募集
についてはこちら



嘱託職員募集
についてはこちら



事業団ウェブサイト

<https://www.nagoya-rehab.or.jp>

事業団公式HP▶



事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式

➡ @nagoya_rehab

事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・福祉スポーツセンター
- ・障害者就労支援センター めいりは
- ・なごや高次脳機能障害支援センター

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

- ・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743